

## ブラジル向け洋上原油処理設備を受注

平成 25 年 11 月 8 日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社(TOYO、取締役社長 石橋 克基)と三井海洋開発株式会社(MODEC、取締役社長 宮崎 俊郎)によるシンガポール合弁会社の MODEC and TOYO Offshore Production Systems Pte. Ltd. (MTOPS)は、このたび MODEC より、浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備(FPSO)に搭載する洋上原油処理設備(トップサイド)の発注内示書を受領致しました。

本 FPSO(Cidade de Caraguatatuba MV27)は、ブラジル国営石油会社(ペトロbras)を含む 3 社コンソーシアムが保有する、ブラジル・リオデジャネイロ南方沖合約 300km に位置するカリオカ鉱区の海底下約 5,000m プレソルト層(岩塩層下)にある海洋油田の開発に投入されます。なお、本 FPSO は 2016 年 6 月に現地に係留される予定です。

MODEC は、ペトロbras向けには本案件で 9 隻目となる FPSO の受注実績を持つ世界トップクラスのコントラクターです。MTOPS の同社関連 FPSO トップサイドの受注は、昨年の FPSO Cidade de Itaguaí MV26 に続いて 4 件目になります。

TOYO は中期経営計画「NEXT TOYO 2015」の一環として資源開発分野の強化に取り組んでおり、引き続きブラジルでの事業領域の拡大も図ってまいります。

### 受注概要

- 客 先: 三井海洋開発株式会社
- 受注者: MODEC and TOYO Offshore Production Systems Pte. Ltd.(MTOPS) (シンガポール法人)
- 係留地: ブラジル BM-S-9 ブロック、カリオカ鉱区(リオデジャネイロ沖合約 300km)  
ペトロbrasを含む 3 社によるコンソーシアムが鉱区権を保有  
(ペトロbras(45%)、BG グループ(30%)、レプソル・シノペック・ブラジル(25%))
- 対象設備: 浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備(Floating Production Storage and Offloading ; FPSO) トップサイド  
設備概要: 石油生産設備(日量 10 万バレル)とガス生産設備(日量 177 百万立方フィート)の洋上原油処理設備
- 役務内容: 洋上原油処理設備の設計、機器資材の調達およびモジュール製作、据付までの一括請負

<お問い合わせ先> 広報・IR 室 [担当:佐藤、深沢] TEL:047-454-1113